

**【福祉生協イリスの取組項目と内容】**

区分	職場環境等要件	生協の取組
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレドカード（経営理念、ビジョン、経営方針、行動指針、私たちの約束を収録した名刺サイズのもの）を全職員が携帯し、クレドポスターの掲示と併せて、いつでも経営理念等の確認ができる取り組みを行っている。</li> <li>・「働きやすい介護の職場」として北海道から認証を受けており、継続的に職場環境の整備を行っている。</li> <li>・パート職員の採用時からの無期雇用を制度化している。</li> </ul>
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・資格所有者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用実績でも可）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20代から60代までの採用実績があり、年齢・経験を問わず幅広い採用を行っている。</li> <li>・資格取得支援制度により、無資格者の採用と採用後の資格取得支援に取り組んでいる。</li> <li>・退職者の再雇用制度（ウェルカムバック採用制度）により、結婚・出産・育児・介護・看護配偶者の転勤・学業・転職等を理由に退職した職員の再雇用を行っている。</li> </ul>
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得支援制度により、資質の向上やキャリアアップに向けた支援を行っている。</li> <li>①資格取得費用の無利子貸付、資格取得後一定期間の勤務による返還免除</li> <li>②研修受講費用の法人負担</li> <li>③試験日の勤務扱いなど</li> <li>・個人研修の外部講習受講の積極的支援を実施している。</li> </ul>
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	所属長又は上位者との年1回以上の面談機会を法人として定期的に設定している。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	・法改正を反映した育児・介護休業規程を整備しているほか、独自の休職制度を設けており、休業制度の充実を図っている。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の事情に応じた勤務シフトの調整や急なシフト変更への対応を行う組織風土がある。</li> <li>・子育てや介護等の家庭事情や職員の体調等に配慮し、日勤帯のみでの勤務や短時間勤務を行っている。</li> <li>・パート職員から正職員への登用を就業規則に規定している。</li> </ul>
腰痛を含む心身	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ス	・パート職員も含めた全職員を対象とした健

の健康管理	ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	康診断、ストレスチェックを就業規則に規定し実施している。 ・職員休憩場所の確保に向けて工夫している。
	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	・研修担当職員を配置し、介護技術研修や腰痛予防研修を実施している。 ・管理者に対する外部の雇用管理責任者講習の受講を実施している。
生産性向上のための取組	厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等）を行っている	業務改善活動の体制構築を行っている。 ①生産性向上委員会の設置 ②本部・経営企画室による業務改善活動の支援 ③職員アンケートに基づく業務改善活動 ④外部の研修会への参加
	介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	・介護記録システム（介護ソフト及びタブレット端末）を導入している。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入	・見守り支援のセンサー機能付きナースコールやインカム等のICT機器を導入している。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	・毎日の定例ミーティングにて情報共有を図るとともに、毎月実施しているセクション会議や管理職の会議において、勤務環境の改善や職場の課題解決について検討している。 ・ケアカンファレンスにおいて、支援の在り方について協議を行い、ケア内容の改善に努めている。
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	クレドカードを用いたコミュニケーション実践研修を年2回実施している。